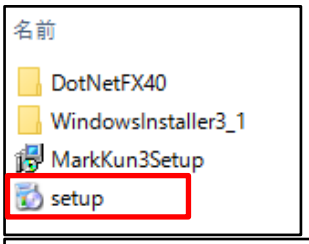
ソフトウェアVer.1.6.1.0以降対応
更新日：2025年8月4日

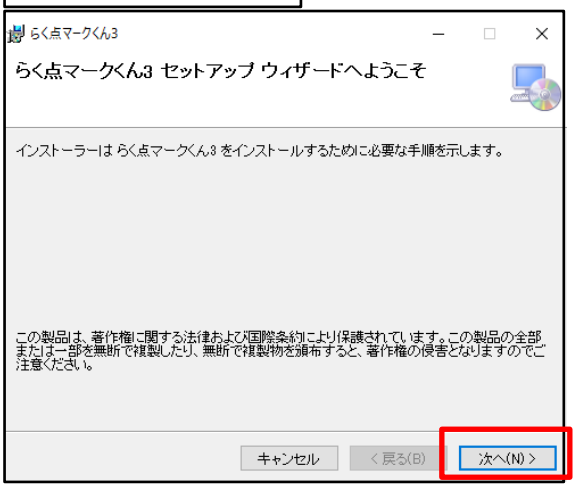
マニュアル　ver.1.0.3

らく点マークくん3

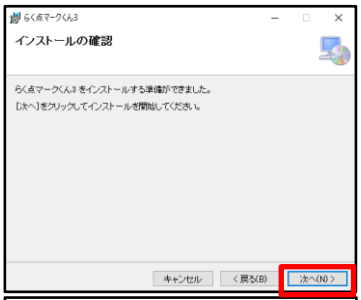
インストール手順



①
MarkKun3_v.〇.〇.〇のダウンロードフォルダを開き、
「setup」をダブルクリックしてください。



②
「らく点マークくんセットアップウィザード」が起動します。
「次へ」をクリックしてください。



③
「インストールの確認」が表示されます。
「次へ」をクリックしてください。
インストールが開始されます。

「インストールが完了しました。」の画面が表示されたら、「閉じる」をクリックしてください。

④
デスクトップ上に「らく点マークくん3」のアイコンが表示されていれば、
インストール完了です。

☑ **カラー** で読み取る

モノクロ画像、グレースケール読み取りには対応しておりません。

☑ **JPEG画像形式またはPDF画像形式** で保存する

TIFF形式の画像には対応しておりません。

☑ **解像度200dpi前後** で設定する

解像度が高いスキャン画像(400dpi～)の場合エラーになる可能性が高くなります。

☑ **監視フォルダ「ScanTmp」を画像保存先にする**

弊社ソフトウェアをインストールすると、
自動的にドキュメントフォルダに「ScanTmp」というフォルダが作成されます。
「ScanTmp」はデフォルトでソフトウェアの監視フォルダとなっており、
「ScanTmp」にスキャネットシートのスキャン画像を入れることで画像を処理することができます。
スキャナ・複合機の画像保存先としてScanTmpを設定するか、
スキャネットシートのスキャン画像を手動でScanTmpに貼り付けを行ってください。

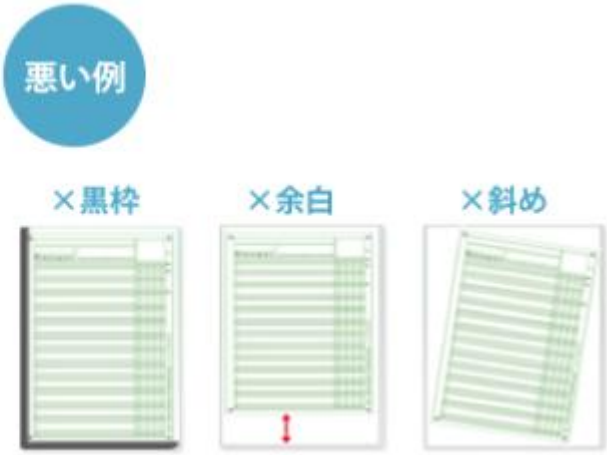
スキャン後の画像条件

☑ **スキャネットシートのカット位置が画像上”左下”になるようにスキャンする。**

スキャネットシートは四隅の内1つがカットされています。
そのカット位置がスキャン画像にしたときに左下になるようにスキャンしてください。
カット位置が別の方向になっている場合は読み取りエラーとなり集計できません。

☑ **斜め・折れ・余白・黒枠** が無いようにスキャンする。

JPEG画像に斜め・折れ・余白・黒枠があると読み取りエラーとなり集計できません。

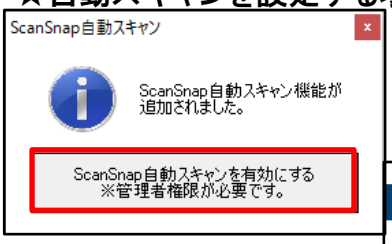


デスクトップに作成された「らく点マークくん3」のアイコンをダブルクリックして、ソフトウェアを起動してください。

初めてらく点マークくん3を起動いただいた時、
「自動スキャン」のウィンドウが表示されます。
※2度目以降の起動時には「自動スキャン」のウィンドウは表示されなくなります。

「自動スキャン」とは、
ScanSnapiX2500・iX1400など ScanSnap のみ利用することができるスキャン設定です。
自動スキャンの設定をすることで、ScanSnap に手動で登録しなくても、弊社専用の読み取り設定でかつユーザー様がScanSnapのスキャンボタンを押さなくてもスキャンが実行されます。

★自動スキャンを設定する場合



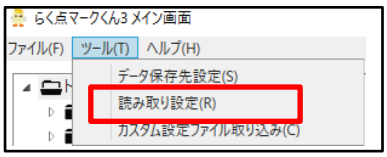
初回ソフトウェア起動時に表示されるウィンドウの、
「ScanSnap自動スキャンを有効にする※管理者権限が必要です。」
をクリックしてください。

ユーザーアカウント制御が表示されたら、
「はい」をクリックしてください。

「自動スキャン」を設定しない場合、**「自動連携機能」**を利用いただくことができます。

「自動連携機能」とは、
ScanSnap iX2500・iX1400など ScanSnap のみ利用することができる設定です。
自動連携機能を設定することで、ScanSnap に手動で読み取り設定を登録しなくても、弊社専用の読み取り設定でシートをスキャンすることができます。

★自動連携機能を設定する場合

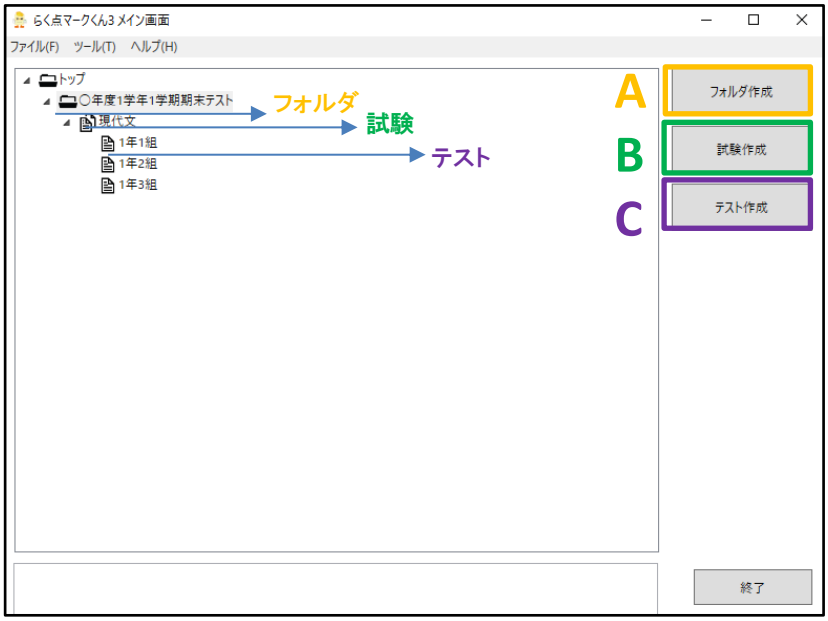


ソフトウェアメインメニューの「読み取り設定」をクリックしてください。

「JPEGファイル方式」「ScanSnap連携を行う」「スキャン設定のみ」にチェックを入れてください。

ユーザーアカウント制御が表示されたら、
「はい」をクリックしてください。

「フォルダ・試験・テスト」作成



らく点マークくん3　メイン画面にて、以下の作成をしてください。

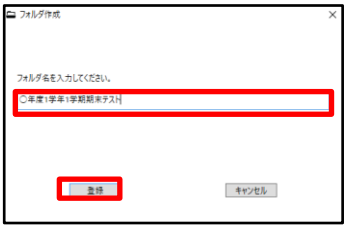
「フォルダ作成」とは、
フォルダを作成することで、そのフォルダの直下に作成した試験やテストをまとめて管理できます。

「試験作成」とは、
試験名・日付・番号桁設定・名簿管理ができます。試験作成で名簿を登録しておくとその直下に作るテストと関連付けられます。

「テスト作成」とは、
テスト名・日付・シート型番・番号設定・名簿・正解配点の管理・結果帳票の出力ができます。試験作成画面で名簿を登録していれば、テスト作成画面での名簿登録は不要です。

A「フォルダ作成」方法

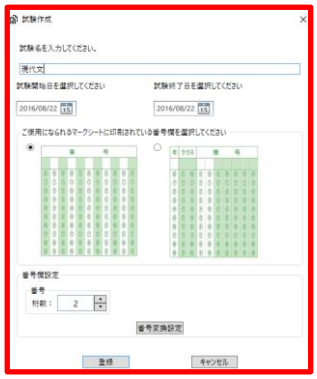
「フォルダ作成」をクリックしてください。
「フォルダ作成」画面が表示されるので、
任意のフォルダ名を入力し「登録」をクリックしてください。



B「試験作成」方法

「試験作成」をクリックしてください。
表示される「試験作成」画面の内容に従って、
試験名と試験日、使用されるシートの番号欄の形式を選択し、
番号欄設定から桁数を指定して「登録」をクリックしてください。

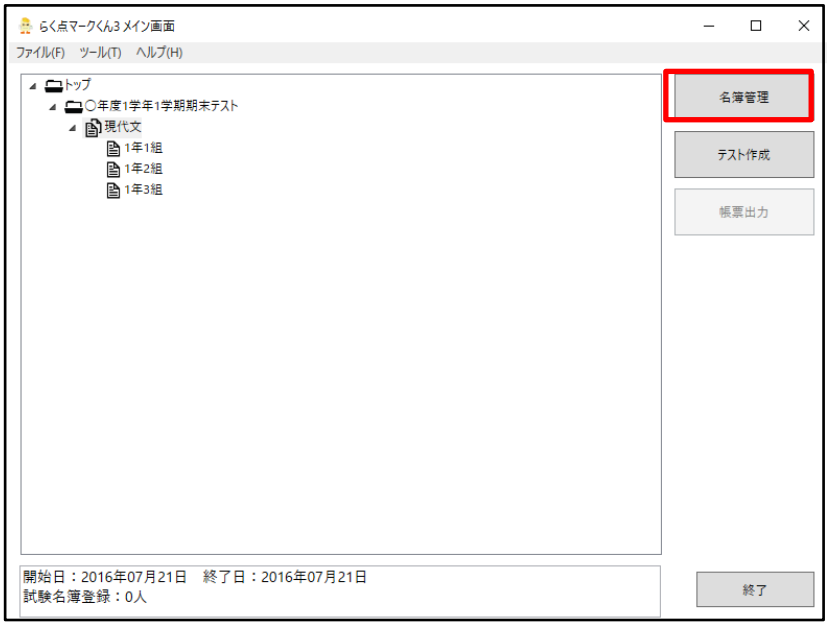
※「番号変換設定」とは、英文字を含む番号をマークさせるときに利用できる設定です。　詳しくはP.14をご覧ください。



C「テスト作成」方法

「テスト作成」をクリックしてください。

表示される「テスト作成」画面の内容に従って、
テスト名・シート型番・桁数入力して「作成」をクリックしてください。



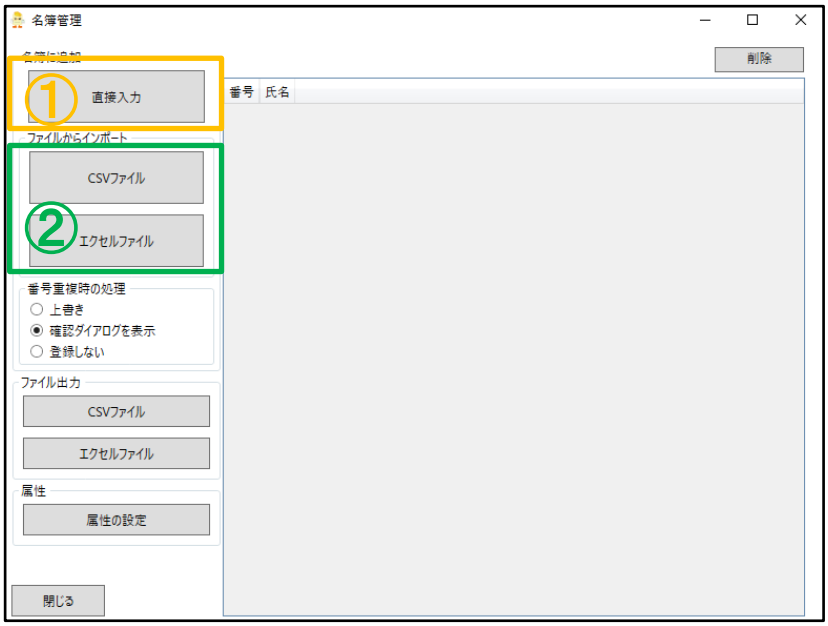
作成した試験、
もしくはテストを選択してから、
「名簿管理」をクリックしてください。

POINT

名簿は、試験ごとにも、テストごとにも登録することができます。

試験ごとに登録すると直下に作成したテスト全ての名簿として関連づけることができます。

テストごとに登録すると、テストごとに違う内容の名簿を登録することができます。



名簿登録方法は2通りございます。

①直接入力の登録方法

直接入力をクリックして、
以下の「名簿」画面に表示されている項目に入力して登録をクリックしてください。

②CSV・エクセルファイルインポートの登録方法

あらかじめ名簿をCSV形式、もしくはエクセル形式で作成いただく必要がございます。

エクセルフォーマットは以下となります。

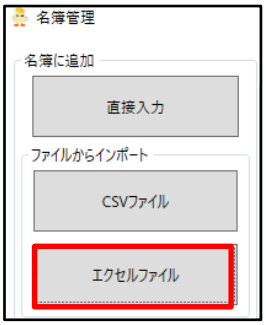
★マークシートが番号形式の場合(番号2桁)

	A	B
1	番号	氏名
2	01	小松 基祐
3	02	高嶋 獅童

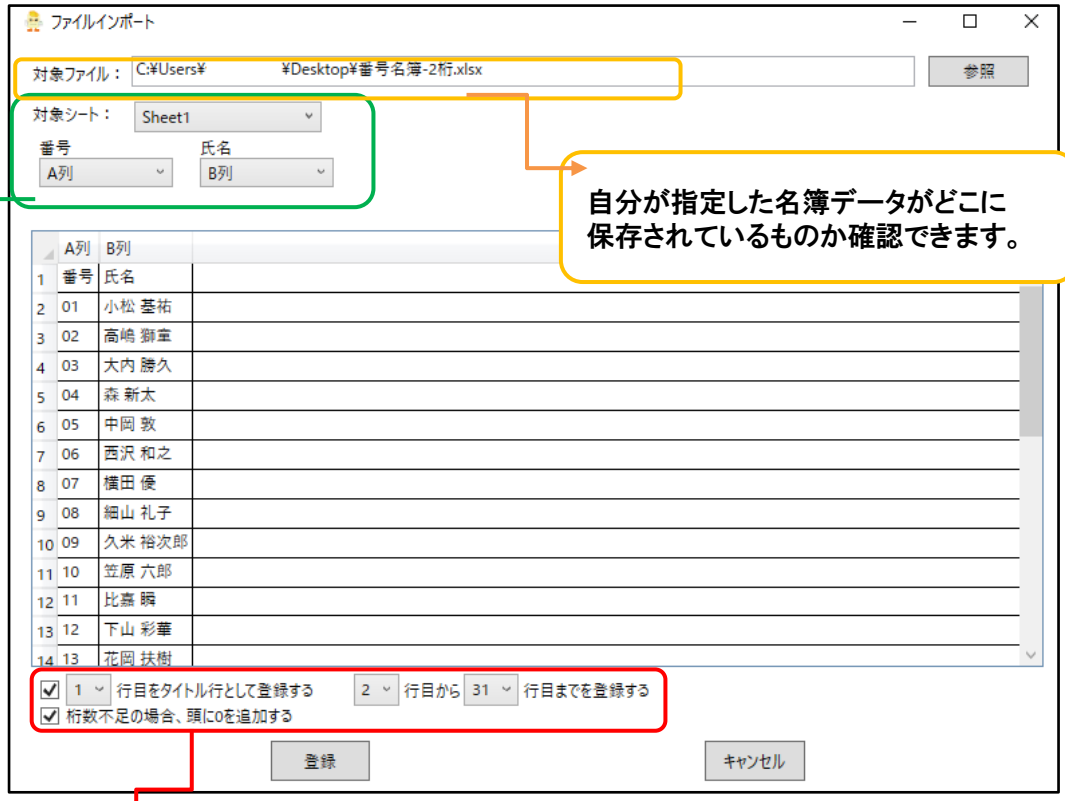
★マークシートが年クラス番号の場合(年1桁・クラス2桁・番号2桁)

	A	B	C	D
1	年	クラス	番号	氏名
2	3	01	01	大倉 剛基
3	3	01	02	深谷 しほり

名簿登録②　名簿をエクセルファイルでご用意いただいた場合のインポート方法



名簿管理画面のエクセルファイルボタンをクリックして、
ご用意いただいたエクセル名簿データを指定してください。



自分が指定した名簿データがどこに
保存されているものか確認できます。

対象シート:とは、
エクセルのシートを
示しています。
登録したい名簿が
あるシートをここで
指定してください。

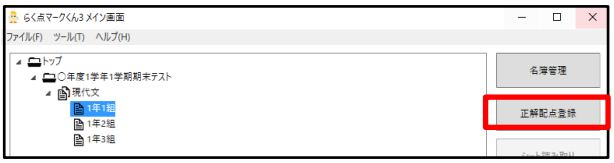
番号・氏名のプル
ダウンは、エクセル
データのどこの列
に番号と氏名を入
力しているか指定
できるようになって
います。

☑1行目をタイトル行として登録する　とは、
たとえばエクセルの一行目に「番号」「氏名」とタイトルを入力していて、
2行目から名簿データを入力している場合に利用する設定です。
エクセルの一行目から名簿データを入力している場合はチェックを外してください。

☑桁数不足の場合、頭に0を追加する　とは、
たとえば試験・もしくはテスト作成時に桁数を2桁で登録しているが、
エクセルの名簿データ上では番号が1～9の人が1桁で入力されている場合に利用する設定です。
この設定をすると、桁が足りない番号の頭に0を追加してエラーにならないように登録することができます。

インポートが完了したら、「登録」をクリックしてください。
名簿管理の画面に戻るので、「閉じる」をクリックしてメイン画面に戻ってください。

正解配点登録方法①直接入力



作成したテストを選択してから、
正解配点登録をクリックしてください。

正解配点登録画面が表示されます。
この画面上で正解配点の登録をします。

正解配点の方法は3つあります。

「直接入力」
「正解配点シート読み取り」
「エクセルファイルインポート」

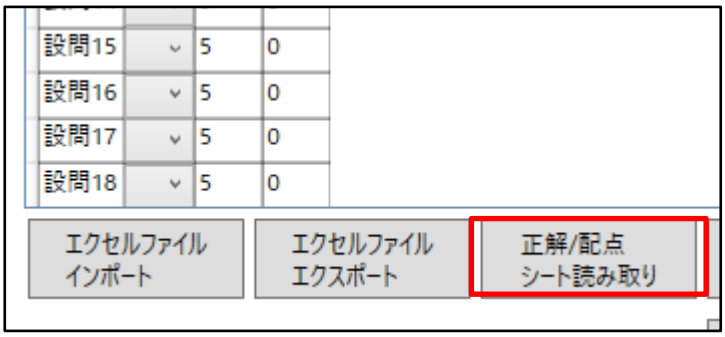
「直接入力」登録方法

正解のプルダウンクリックで開いて、
正解の番号を指定してください。

配点は正解の枠の隣にある0を編集して
設定をするか、

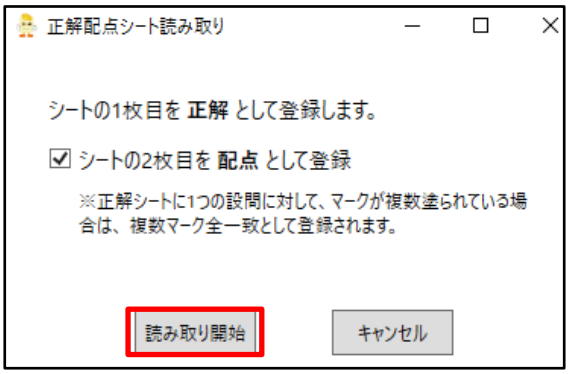
「配点・減点」の枠に点数を入力して、
設問〇～設問〇のプルダウンを確認し、
設定をクリックすると一括で設定できます。

「正解配点シート読み取り」方法



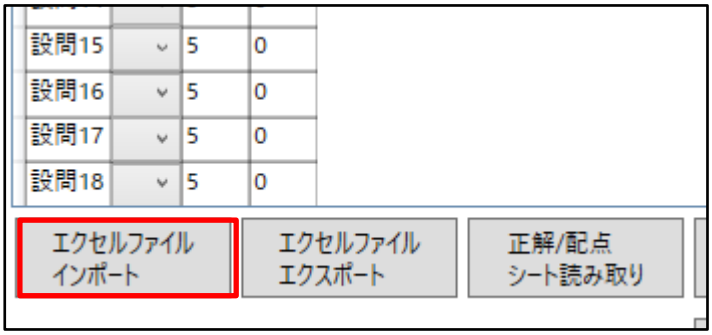
正解配点シート読み取りでの設定は、
予め正解マークと配点マークを
それぞれ塗ったシートを
ご用意いただく必要がございます。

「正解/配点シート読み取り」を
クリックしてください。



正解配点シート読み取り画面が表示されます。
シートの2枚目を配点として登録の
チェックボックスにチェックを入れて、
読み取り開始をクリックして
読み取りを行ってください。

「エクセルファイルインポート」方法



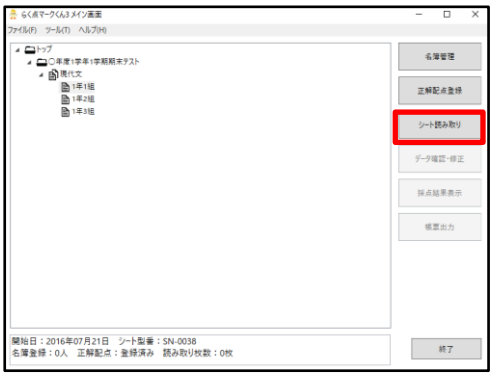
エクセルファイルインポートでは、
予めエクセルで正解配点データを
ご用意いただく必要がございます。

エクセルファイルインポートを
クリックしてください。
正解配点のエクセルデータを指定して、
登録をお願いします。

正解配点エクセルデータのテンプレート※エクセルファイルエクスポートしてご入力ください。

	A	B	C	D
1	設問	正解	配点	採点タイプ

採点タイプ・特殊採点の設定に関しては、詳しくはP.15をごらんください。



「シート読み取り」をクリックしてください。

※ ScanSnapiX2500・iX1400 など ScanSnap を利用していて、自動スキャンの設定をしている場合は、クリックする前にシートを左上にカット位置がくるようにスキャナにセットしてください。「シート読み取り」をクリックすると自動スキャンが開始されます。

フォルダ監視中の画面が表示されます。
ここでスキャンを開始すると、読み取りに問題がなければ**画像処理件数**と、**正常読み取り件数**が上がります。
シートの枚数分件数が上がったら、読み取り停止の後に「閉じる」をクリックしてください。

読み取りに問題があると**読み取りエラーの件数**が上がってしまいます。
読み取りエラーとなってしまったシート画像は**集計処理ができない**ため、問題を解決し読み取り直しが必要になります。
読み取り停止をすると、赤文字でエラー内容が表示されるので、ご確認ください。

シート読み取り・集計の仕組み

監視フォルダ【ScanTmp】にJPEG・カラーの設定で読み取ったシート画像を入れることで、ソフトウェアが＜フォルダ読み取り中＞の画面に移ると、シート画像を処理する事ができます。

★スキャナもしくは複合機の設定で、読み取ったシート画像の保存先を、マイドキュメント内の監視フォルダ【ScanTmp】に設定いただくとスムーズにご利用いただけます。

スキャナ・複合機でシートをスキャンした後ソフトウェアの【フォルダ読み取り中】の画面に移っても画像処理件数と正常読み取り件数が増えない場合、

・監視フォルダ【ScanTmp】にシート画像を入れていない
・シート画像を1つのフォルダにまとめて監視フォルダ【ScanTmp】に入れている
・監視フォルダ【ScanTmp】フォルダ内のtmpworkフォルダに画像を入れている

上記いずれかの可能性が考えられます。
スキャンしたシート画像は一つのフォルダにまとめずに、
そのまま監視フォルダ【ScanTmp】に入れていただくと画像処理件数が増えます。

フォルダ読み取り中の画面で読み取りエラー件数が増えてしまった場合、
監視停止をクリックすると読み取りエラーの種類が赤文字で表示されます。

型番認識エラー

・ソフトウェアで設定したシート型番ではないシートを読み取ると、
型番認識エラーになります。

対策：誤ったシート型番をソフトウェアで登録してしまった場合は、
お手数ですが＜新規読み取り＞で新たに設定登録をお願いします。

補正点取得エラー

シート四隅の黒い四角を補正点としている為、
ソフトウェアは補正点を基準としてシートの判別をしております。
四隅が汚れていたり、紙が折れて隠れてしまっていると、補正点のエラーになります。

対策：エラー画像の四隅の汚れをペイントで消してください。
シートが折れていた場合等は直して再度シートのスキャンをしてください。

スキャナーへシートをセットする際に向きが間違っている場合も、
補正点エラーになることがあります。

対策：シート画像の欠けている箇所が左下になるように読み取りください。

ページ不整合エラー

両面シートの読み取りで裏表が逆になってしまったり、
裏面が読まれなかったりした場合にページ不整合エラーになります。

対策：表裏を確認、スキャナーの設定をご確認ください。

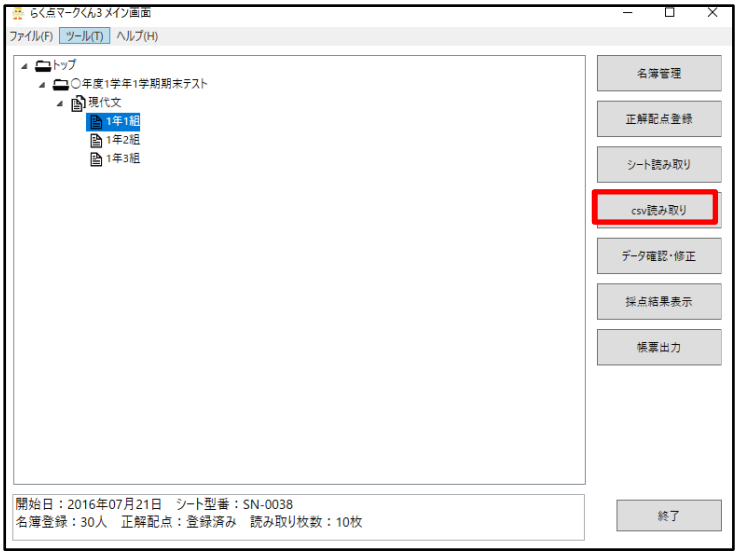
画像変換エラー

画像ファイルが壊れていたりして、画像ファイルが開けなかった場合に
画像変換エラーになります。

対策：壊れていない画像ファイルでソフトウェアで読み取りください。

読み取りエラーとなってしまった場合、
監視停止中の画面下にエラー画像保存フォルダが表示されますので、
「開く」からエラーになったシート画像の確認ができます。

CSV読み取り



「CSV読み取り」とは、
CSV形式で作ったマークデータ情報をインポートし、らく点マークくん3無料版で採点し結果を出力できる機能です。

元々読み取りしてあるテスト情報に、CSVからマーク値情報を追加することや、新規でテストを作成することができます。

弊社のソフトウェア、「カンマくん3」で読み取ったデータを出力し、CSV形式に変換いただいたものをインポートすることも可能です。

ご用意いただくCSVは、
1行目にタイトル、2行目以降にマーク値をご入力ください。

年クラス番号のCSV

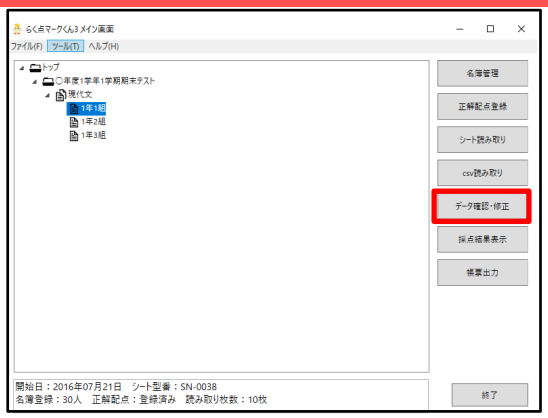
	A	B	C	D	E
1	年	クラス	番号	問1	問2
2	3	1	2	1	1
3	3	1	3	1	1
4	3	1	1	1	1

番号のCSV

	A	B	C	D	E
1	番号	設問1	設問2	設問3	設問4
2	11	2	1	1	3
3	3	2	1	1	4
4	4	1	2	1	3

なお、CSVからインポートしたマークデータは、データ確認修正画面でセルをダブルクリックしてもシートを読み取っていない為シート画像は表示されず、閾値変更の設定からも除外されます。

データ確認・修正画面

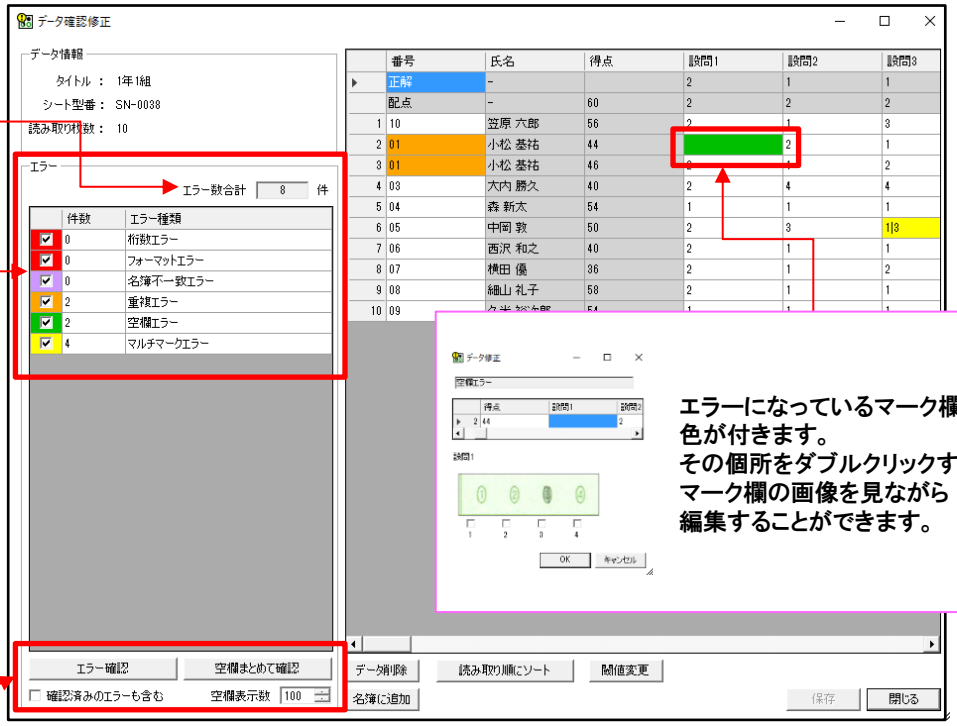


「データ確認・修正」をクリックしてください。
データ確認修正画面が表示されますので、
エラー内容を確認、修正してください。

エラーとなっているマーク欄数の合計が表示されています。

下の枠で、
エラーの種類と数が確認できます。

チェックボックスのチェックを外すと、
その項目に関するエラーを無視することができます。



エラーになっているマーク欄には
色が付きます。
その個所をダブルクリックすると、
マーク欄の画像を見ながら
編集することができます。

「エラー確認」をクリックすると、
エラーとなっているセルの修正画面が順番に表示されます。
一つ修正が終わると次のエラーの修正画面が表示されます。

「空欄まとめて確認」をクリックすると、
空欄エラーになっているシート画像が表示されます。ここで修正が必要なものをダブルクリックして修正できます。
空欄まとめて確認画面の下にある、「表示した空欄エラーを確認済みにします。」をクリックすると、
次回以降に「空欄まとめて確認」を表示されたときに前回見た空欄画像が表示されなくなります。

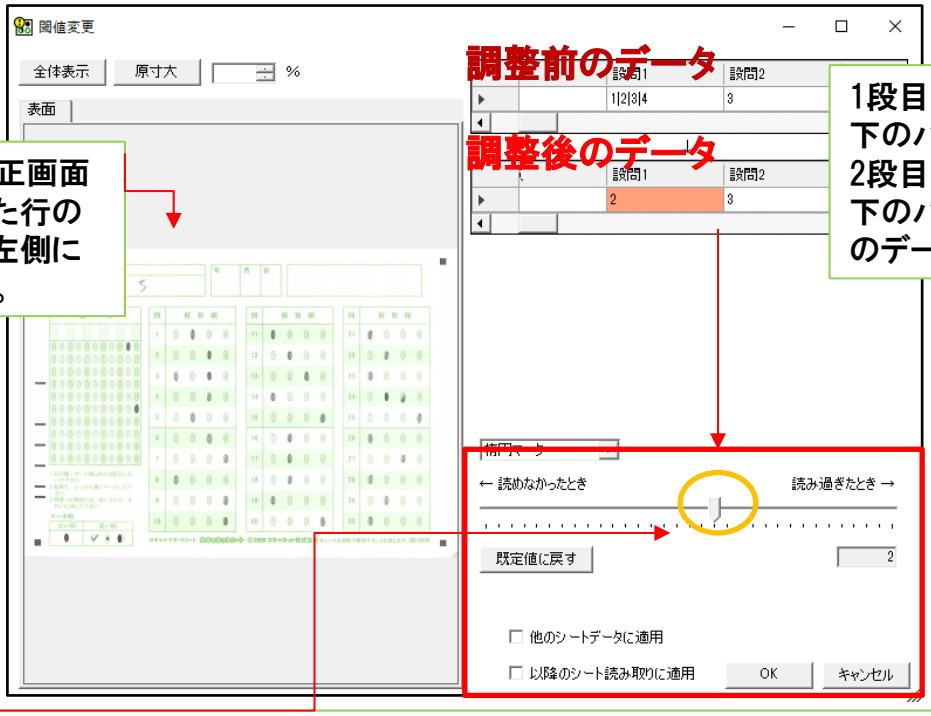
※一度確認が終わったエラーを見たい場合は、
「エラー確認」ボタンの下にある「確認済みのエラーも含む」のチェックを入れると、確認できるようになります。

マーク欄エラーの種類

☑	0	桁数エラー
☑	0	フォーマットエラー
☑	0	名簿不一致エラー
☑	2	重複エラー
☑	2	空欄エラー
☑	4	マルチマークエラー

桁数エラー：番号(年クラス番号)桁数設定がされていない場合。
フォーマットエラー：エラー修正後の内容が、また別のエラーになっている場合。
名簿不一致エラー：名簿に登録されていない番号をマークしている、もしくは名簿を全く登録していない場合。らく点マークくん3は名簿の登録をしていないと帳票出力ができません。画面下の名簿に追加から、マークされた番号を名簿登録して結果を出力することができます。
重複エラー：同じ番号をマークしているシートが2つ以上存在している場合。
空欄エラー：塗りつぶしが無い場合、もしくは塗りが薄くマークとして認識できていない場合。
マルチマークエラー：指定のマーク数よりも多く塗りつぶしている場合。

マークされているのに空欄エラー、マークしていないのにマルチマークエラーになっている場合、マーク認識閾値が誤っている可能性があります。データ確認修正画面の下部にある「閾値変更」をクリックしてください。



データ確認修正画面で選択していた行のシート画像が左側に表示されます。

1段目のデータは下のバーの調節前、2段目のデータは下のバーの調節後のデータとなります。

真ん中にあるバーを調節して、閾値を調節します。

読めなかったとき：しっかりマークしているのに、空欄エラーになっている場合。

読みすぎたとき：1つしか塗りつぶしていないのに、
確認修正画面で2つ以上塗っているマルチマークエラーになっている場合。

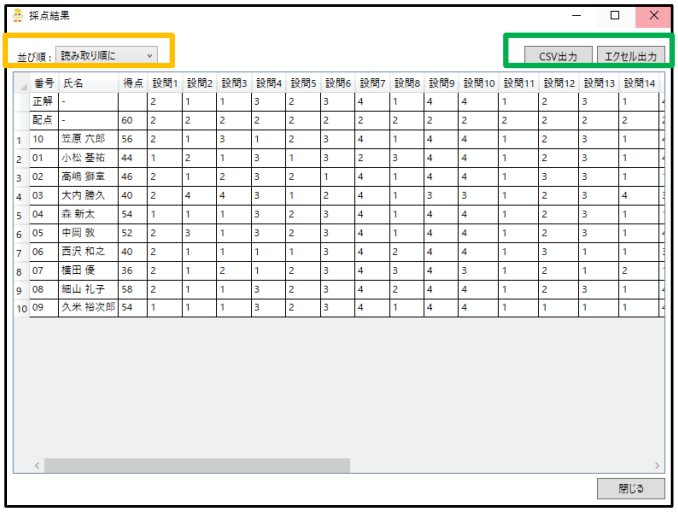
□　他のシートデータに適用　とは、
表示されているシート画像以外にも調節設定を適用する設定ができるチェックボックスです。

□以降のシート読み取りに適用　とは、
このテスト以外のシート読み取りにも調節設定を適用する設定ができるチェックボックスです。

採点結果出力

採点結果出力方法

「採点結果表示」をクリックしてください。



	番号	氏名	得点	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14
	正解	-		2	1	1	3	2	3	4	1	4	4	1	2	3	1
	配点	-	60	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
1	10	笠原 六郎	56	2	1	3	1	2	3	4	1	4	4	1	2	3	1
2	01	小松 菱祐	44	1	2	1	3	1	3	2	3	4	4	1	2	3	1
3	02	高嶋 獅童	46	2	1	2	3	2	1	4	1	4	4	1	3	3	1
4	03	大内 勝久	40	2	4	4	3	1	2	4	1	3	3	1	2	3	4
5	04	森 新太	54	1	1	1	3	2	3	4	1	4	4	1	2	3	1
6	05	中岡 敦	52	2	3	1	3	2	3	4	1	4	4	1	2	3	1
7	06	西沢 和之	40	2	1	1	1	1	3	4	2	4	4	1	3	1	1
8	07	横田 優	36	2	1	2	1	2	3	4	3	4	3	1	2	1	2
9	08	細山 礼子	58	2	1	1	3	2	3	4	2	4	4	1	2	3	1
10	09	久米 裕次郎	54	1	1	1	3	2	3	4	1	4	4	1	1	1	1

採点結果画面から、
誰が何をマークして合計何点取れているかの
採点結果を確認することができます。

このデータは「CSV出力」「エクセル出力」から
出力することができます。

「並び順：」のプルダウンから、
読み取り順、番号順、名簿順に
変更することができます。

番号変換設定

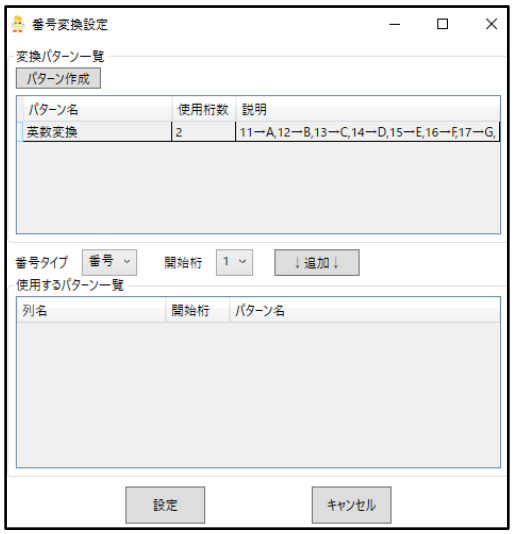
「番号変換設定」 ※名簿登録前でないと設定できません。

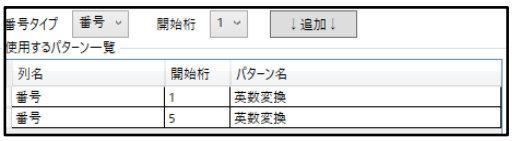
例えば、A01、B28、C30など、
番号欄にマークする番号の中に
英字が混ざっている時に利用する設定です。
英字の部分は2桁の数字をマークすることで
ソフトウェア上で変換されます。

【設定方法】
「試験作成」もしくは「テスト作成」画面の「英数変換」の項目を
クリックして、英数字を入れたい開始桁をプルダウンから設定して
追加をクリックしてください。
下段に設定した内容が表示されますので、
内容に問題がなければ「設定」をクリックしてください。

【英数変換】マーク内容
A:11 B:12 C:13 D:14 E:15 F:16 G:17 H:18 I:19 J:20 K:21 L:22 M:23 N:24
O:25 P:26 Q:27 R:28 S:29 T:30 U:31 V:32 W:33 X:34 Y:35 Z:36
a:41 b:42 c:43 d:44 e:45 f:46 g:47 h:48 i:49 j:50 k:51 l:52 m:53 n:54 o:55
p:56 q:57 r:58 s:59 t:60u:61 v:62 w:63 x:64 y:65 z:66
-:71 0:00 1:01 2:02 3:03 4:04 5:05 6:06 7:07 8:08 9:09

【開始桁数について】
A010B1という番号の番号変換設定をしたい場合、
1と、5の開始桁の設定をそれぞれ作成してください。
※実際にマークするときは、11 010 12 1 となります。





「特殊採点の設定」

らく点マークくんスタンダードでは様々な採点設定を行うことができます。

【直接入力での設定方法】

正解配点登録画面の設問番号の上で右クリックをすると、
設定できる採点タイプが表示され、設定することができます。

【エクセル・CSVでの設定方法】

採点タイプ	
0	通常採点
1	順不同全一致
2	順不同部分一致
3	連続一致
4	順不同部分一致(正解数に応じて)
5	連続一致OR
6	複数マーク択一
7	複数マーク全一致
8	複数マーク部分一致
9	全員正解
10	解答者全員正解
11	スキップ
12	(未使用)
13	複数マーク全一致OR
14	空欄正解

エクセルデータの採点タイプの列に、
左の表にある採点タイプの番号を入力することで特殊採点の設定ができます。

	A	B	C	D
1	設問	正解	配点	採点タイプ
2	設問1	2	2	0
3	設問2	1	2	0
4	設問3	1	2	1
5	設問4	3		
6	設問5	2	2	0
7	設問6	3	2	0
8	設問7	4	2	0

・択一　　正解が一つ

・複数マーク択一　　「1～5の中から正しいものを一つ選びなさい」というような設問において正解が複数ある場合。
解答マークは一つのみ。解答マークがマークの正解マークのどれか一つと一致すれば正答とする。

・複数マーク全一致　　「1～5の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、一つのマーク欄を用いて
解答させる場合。正解と解答が過不足なく全て一致した場合にのみ正解とする。

・複数マーク部分一致　　「1～5の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、一つのマーク欄を用いて
解答させる場合。解答マークのうち正解マークと一致した数に応じて得点を与える。

・マーク一致OR　　得点を与える解答マークが複数ある場合。例：正解マーク１が5点、３が3点の場合など。
複数の正解のうちいずれかと一致する場合のみ正答とする。

・順不同全一致　　複数マーク欄使用
「1～5の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、連続する
複数のマーク欄を用いて解答させる場合。正解と解答が過不足なく全て一致した場合にのみ正解とする。

・順不同部分一致　　複数マーク欄使用
「1～5の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、連続する
複数のマーク欄を用いて解答させる場合。解答マークのうち正解マークと一致した数に応じて得点を与える。

・連続一致　　複数マーク欄使用
「1～5の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、連続する
複数のマーク欄を用いて解答順序も指定させる場合。正解と解答が過不足なく順番含め全て一致した場合
にのみ正解とする。

・連続一致OR　　複数マーク欄使用
連続一致での採点において、正解が複数ある場合。
例：角ABC角EFGのどちらでも正解の場合など。連続一致と同じ方式で、複数の正解のうちいずれかと
一致する場合のみ正答とする。

・順不同部分一致正解数に応じて　　複数マーク欄使用「1～5の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、
連続する複数のマーク欄を用いて解答させる場合。正解と一致した個数に応じて得点を与える。
正解の並び順は異なってもよい

・全員正解
・解答者全員正解
・空欄正解
・スキップ　　採点対象としない場合

・数値マーク択一　　計算結果などを一つの数値マーク欄を用いて解答させる場合。正解と解答の先頭0を除去した場合に
一致すれば正解とする

こんなときは

システムエラーの発生や不具合が解消されない場合は、診断用データのご提出をお願いしています。
調査結果のご報告と、対処方法についてご回答いたします。

ご提出方法

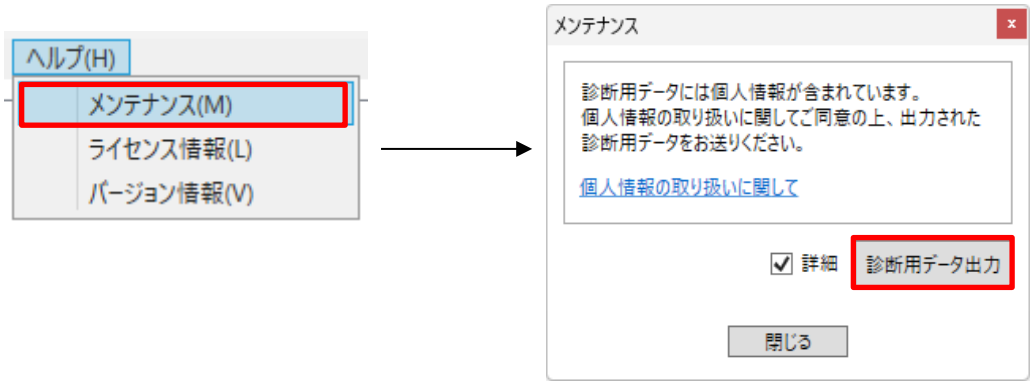
①診断用データを出力します。※出力方法は下記にてご確認ください。
②info@scanet.jp宛に出力された診断用データをお送りください。

件名：らく点マークくん3のエラーに関するお問い合わせ
本文：学校名、氏名、エラー発生時の直前の操作
（このボタンを押した等）をご記載ください。

※診断用データのサイズが大きすぎてメールでお送り頂けない場合は、
大容量ファイル転送サービス等をご利用ください。
※内容によっては回答をさしあげるのにお時間をいただくこともございます。
また、休業日は翌営業日以降の対応となりますのでご了承ください。

診断用データの出力方法

①メイン画面の上部にある「ヘルプ」をクリックし、「メンテナンス」を開きます。
②「診断用データ出力」ボタンをクリックし、ファイルをデスクトップ上などに出力・保存します。



お問い合わせ

☑ ソフトウェアサポート

「らく点マークくん3」の操作方法についてご不明な点などございましたら製品サポートをご利用ください。

☑ スキャネット株式会社

✉ info@scanet.jp
☎ サポートダイヤル：03-4582-3982
（平日：9:00～12:00／13:00～18:00）